

旺盛な需要が見込まれるアジアのインフラ投資

◆2016～30年のアジアのインフラ需要は年平均1.7兆ドル

アジア開発銀行（ADB）が2017年2月に発表した報告によると、アジア45カ国・地域における16～30年のインフラ需要は26兆ドル、年平均では1.7兆ドルと見込まれている。旺盛なインフラ需要に対して、15年の実際の投資額を比較するとそのギャップはGDP比2.4%に相当する。需要に見合う投資が行われれば、GDP成長率が2.4%押し上げられることになる。

課題は投資資金の調達である。通信や電力では民間資金も活用されているが、水・衛生では99.8%が国際開発金融機関（MDB）を含む公的資金で賄われている。民間資金活用の多様化、各国政府の財政支出見直しが必要とされている。

分野別	年平均	構成比	国・地域別	年平均	構成比
電力	982	(56.3%)	中国	1,018	(58.4%)
交通・運輸	557	(31.9%)	南アジア	423	(24.3%)
通信	152	(8.7%)	ASEAN	210	(12.0%)
水・衛生	53	(3.1%)	中央アジア	38	(2.2%)

(資料) アジア開発銀行 <https://www.adb.org/publications/asia-infrastructure-needs>

◆官民連携の推進や、国際開発金融機関の協調が求められる

66年設立のADBの年間融資額は15年、130億ドル強の規模となっている。5月に横浜で50周年の年次総会が開催され、民間の資金、技術、経営ノウハウなどを活用する官民連携の推進が議論される。

一方、16年に中国主導で設立されたアジアインフラ投資銀行（AIIB）は、6月に韓国・済州島で第2回年次総会を開催する。これまでの融資実行プロジェクトのほとんどは、ADBや世界銀行など他のMDBとの協調融資となっている。

インドネシア	ダム&水資源管理 (125)、貧困地区住環境整備 (216.5)
ミャンマー	225MWガスタービンコンバインドサイクル発電所 (20)
バングラデシュ	天然ガスの生産効率改善とインフラ拡大 (60)、送電線整備 (165)
パキスタン	水力発電拡張 (300)、道路整備 (100)
タジキスタン	国境道路改良 (27.5)
アゼルバイジャン	天然ガスパイプライン (600)
オマーン	デュクム港湾ターミナル等整備 (265)、鉄道システム (36)

(資料) アジアインフラ投資銀行 <https://www.aiib.org/en/projects/approved/index.html>

まだ日米はAIIBに参加していないが、ADBとAIIBが協調することで、アジアのインフラが整備されていくことが期待される。

【長谷川雅史】